

NPO 法人岡崎がくどうの会

2023 年 2 月 5 日 (日)

2022 年度学童保育ひろば in 尾張旭 レポート

## “いっしょに子育て学童保育” ～子どもを真ん中に～

【クラブ】( なかよしクラブ )

【名前】( 吉川美里 )

以前学童保育ひろばに参加した時、交流会のように 色々な地域の指導員と悩みなどを自由に話し合いました。意見の強制もない代わりに捉えどころがはっきりしませんでした。指導員の本音を聞けたり楽しく交流出来た記憶があります。

今回も貴重な日曜日にどうせなら楽しく交流出来たら良いな…と思いながら参加しました。最初は緊張しましたが、絵本作家のサトシンさんと司会の鈴木さんの雰囲気づくり?で、無駄な肩の力を抜くことが出来ました。

まずはサトシンさんに自身のたくさんの絵本を紹介していただき、絵本の力の大きさを感じました。コミュニケーションの形の一つだというお話がありました。自分も説教臭い話を長々とくどくどするのが苦手なため、楽しく興味を持って何か伝えられるツールの一つとして、長期休みには必ず絵本や紙芝居を読んでいます。子どもたちに対する応援であり、色々な経験は乗り越える力となる、などの安心出来る言葉がたくさんありました。サトシンさんだからこそ絵本の世界への引き込まれ方が違うのかもかもしれませんが、読み方も大変勉強になりました。子どもたちと楽しく関わりを持てるきっかけとして、これからも大切にしていこうと思えました。

交流はZOOMでの難しさを感じましたが、市によって、支援の体制や考え方の違いがあることや、どの地域も長い間かけて少しずつ前進してきたことが分かりました。

質問の内容から保護者会運営とNPO、法人運営の話が中心となりました。これから法人化を広げていく地域もありいくつか質問されていたので、全国学童保育研究集会等でそういうテーマの交流や分科会があればより詳細に聞けるのではないかなと思いました。メリットデメリットの意見も参考になりました。保護者の方々の負担を軽減していく反面、保護者との関わりが希薄になってしまうことをどう考えていくのか…という思いや抱える悩みは、指導員みんな同じでした。子どもたちにとっての最善とは何か、デメリットを課題として、これも一歩一歩考えながら前進していこうと思えました。

喜びも辛さも共有していける、保護者の方々と一緒にその姿を見ながら子育てしていける場所でありたいです。一方通行にならないように、前進していけるように、これからも考えていこうと思います。